



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「しあわせの王子」

## ★今回の道徳の授業のねらい

美しく優しい心に感動し、それを大切にしようとする心情を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

外見的にきらびやかな王子の像が自己を犠牲にしながらも、不幸な人たちのために尽くす姿と、その心に打たれて王子に寄りそうツバメの姿が感動的に描かれているお話です。王子やツバメの美しい心に十分に共感できるようにし、その内面的な美しさ、尊さを素直に感じ取れるようにしたい教材です。

## ★子どもたちの授業のふりかえり

- ・今までは人のことを考えて行動できていたか分からなかったけど、今度からは「できていたか分からない」ではなく「できている」と言えるように、人のために行動したいです。
- ・これからは、やさしい心を大切にしたいです。わけは、やさしいことをすると自分も相手もうれしくなるからです。
- ・王子様のようにやさしい人になりたいです。わけは、やさしくなると自分もうれしくなるし、相手もうれしくなるからです。
- ・ツバメも王子様もよいことをしていてすごいと思いました。そんな心が増えるといいと思いました。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

美しい心に素直に感動する気持ちや、気高いもの、崇高なものを尊敬する気持ちを育みたいものです。そのためにも、伝記などの物語を読み聞かせることで、人としての在り方を深く考えたり、その心を感じたりする機会をつくるのが大切です。また、お子さんの生活場面で、人とのかかわりあいの中で起きた言動や、行為の中にあるお子さんの心の美しさや清らかさ、そして、崇高な心を見つけていただきたいです。それを教えることによって、お子さんが自分にも美しい心があるということに気づくことができると思います。

このようにすることでより一層、人の心の美しさについて考えることができると思います。よろしくお願いいたします。